

NEA主催 オンライン学習会報告

「2021年中学英語に衝撃が走る！2021年の英語集客を考える！」

2020年11月10日～11月26日にかけて、英語に関する学習会を5回行いましたので、報告いたします。

【学習会開催について】

英語の学習会は、2021年度より中学校の新指導要領スタートとなることから「指導形態をどのように変えるか？ いつ変えるか？ 変えないか？」ということも重要ですが、まずは、保護者・生徒にわかりやすく具体的に情報を伝えられるよう、正確で豊富な情報を提供させていただくことが大切だと考えました。

そこで「新年度の教科書」「英語指導コンテンツの具体例」「英語学習に関する保護者アンケート分析」情報などから、多様な状況に対応するための情報共有学習会を行いました。



● 当日の映像視聴および資料は、NEAのWebサイトよりダウンロードできます。

https://www.n-ea.jp/gakushukai_ichiran/



●内容目次

- P.2 いま、英語教育はどうなっている？ 学習塾はどうすべきか？
【2021年中学校英語教科書を例にして、今後について具体的に説明】
- P.3 誰でも身につく英会話！発話量の確保と自走できるプラン設定で着実な進歩を
【大学との協同実験結果をもとに英語の学びについて】
- P.4 コンテンツマーケティング～新しいウェブ戦略のご提案
【英語コンテンツからマーケティングをする新戦略】
- P.5 中学生でTOEIC®600点レベルオーバー！！学習の鍵は「自立」と「継続」
【4技能をバランスよく身につけさせて英語力を向上させる】
- P.6 学習塾をアップデートする具体的な方策 リアル+遠隔で成績と売上を上げるには
【学習塾業界を取り巻く環境分析から学習塾のアップデートを】
- P.7 緊急保護者アンケートから考える「英語改革」に対応する学習塾英語とは！
【保護者視点から今後の英語指導サービスを考える】

<第1弾>

英語基調学習会

いま、英語教育はどうなっている？ 学習塾はどうすべきか？

2020年11月10日（火） 11:00～13:00

(株)エデュケーションアルネットワーク様 127名参加

●概要

2021年度から変わる中学英語教科書をもとに「変わる英語教育」について具体的に解説した。この動画は期間限定（12月13日まで）で正会員のみアーカイブ提供した。

（会員の要望を受けて、12月18日（金）まで視聴延長）

参加者の声：

- ・見えていなかった部分が多かったので、色々話をきけて具体的になった。
- ・英語が今後の集客のポイントになるのではと思っていたので、今後の集客にいかしていこうと強く感じた。
- ・新しい教科書について、注意すべき点が明確になった。危機感を持ち、対応する必要があることがよくわかった。

●内容

2021年度からの教科書改訂を具体的に説明しながら、今後の英語指導についてのポイントについて解説した。

（当日配付資料抜粋）

「ヤバすぎる新教科書」を分析した結果わかったこと…

どのページも新出単語が多く難しすぎる！

とにかく単語の多さと難度に驚愕。とりわけ**次年度の新中3生**は、未習の単語・文法だけで授業が成立しない可能性大。

中3リーディングは確実に高校レベルへ変化！

リーディングのテーマは**SDGsを意識したもの**が多い。抽象度が高く、ほぼ高1レベル。英語力以前の学力や常識が問われる。

ターゲットセンテンスの運用練習が少ない！

内容重視(SDGs系テーマ)に加え、基本文法の習得よりも活用(発表やディベートなどのアクティビティ)に重点が置かれすぎ。

「ヤバすぎる英語」を千載一遇のチャンスに変える！

小学英語の見直しと集客プロモーション！

小学英語と中1スタート内容の連動が強い。中1の中間テストから差が出る状況は必至。**小学英語の重要性**を再度アピール。

とりわけ新中1、新中3の集客に最強のネタ！

新中1、新中3とも激変した教科書に大きなプレッシャーを受けず。冬期、春期、新年度と、集客チャンスは拡大。

学習塾の英語指導の「強み」をアピール！

4技能の根幹にある文法(=文構造)の理解促進と、書くトレーニングを強化した定期テスト対策。生徒を英語嫌いにさせない。

<第2弾> 前半

誰でも身につく英会話！発話量の確保と自走できるプラン設定で着実な進歩を

2020年11月12日（木）

11:00～12:20 70名参加

産経 ONLINE 英会話様

●内容

英会話を実施することによる効果検証を東京外国語大学、望月圭子教授と、長野県・徳島県の県立高校と研究実施報告。（毎月1回60分間のオンライン英会話、2年間）

【調査項目】 以下3点を重点比較

- ・学習者の意識の伸長
- ・流暢性の比較
- ・複雑性の比較

【検証結果】

スピーキングスキルにおいて最も重要な要素である複雑性は、明確な差を確認できず。意識の伸長と流暢性においては受講者と非受講者との間で差は認められた。

この効果検証より、英会話のスキルを向上させるためには、「発話量の確保」と「継続性」が最も重要であることを再認識できる結果となった。

そのためのオンライン英会話活用は、スモールチェンジの手段の一つとなる。

参加者の声：

- ・オンライン英会話における重要な観点を改めて認識できた。また、その必要性をより感じた。
- ・高校生への実験結果を基にお話してくださった点が良かった

（当日配付資料抜粋）

結論

産経 オンライン 英会話Plus+

「英語は言語」 確実な進歩の実現は
ある程度の数をこなすことでしか達成しない

新学習指導要領の導入で学校でも積極的な
スピーキング授業の導入
→明確な差を創出するには
「数」と「自走」 が肝要



<第3弾>

中学生で TOEIC®600 点レベルオーバー！！ 学習の鍵は「自立」と「継続」

2020年11月17日（火）

子ども英会話 Lepton 様 70名参加

● 内容

大学入学共通テストもにらむことができる学習方法として、英語の学び方について、実際の生徒指導の成功例（本人の英語スピーチ動画あり）を用いて紹介した。

【成功理由】

- ①自ら学んだ
- ②4技能を“バランス”良く学んだ
- ③長い時間かけて学び、じっくり定着

【講師・保護者のスタンス】

- ①自分でやらせる
- ②見守る
- ③褒めて伸ばす

参加者の声：

- ・生徒様の英語力をアップさせるための大切なポイントを聞くことができた
- ・個別で進められる良さ、英語習得の3つのポイントを改めて納得した。

（当日資料抜粋）

Lepton **1P** 基本コンセプト

- ①「時間をかけて」じっくり定着させる
(英語運用能力は英語との接触時間に比例して向上)
- ②英語は教わるのではなく「自ら学ぶもの！」
(学問ではなく技能！自発的な自立学習が必要)
※楽器、スポーツ、車の運転と同じ。一定の基本を覚えれば一生使える技能に！
- ③「81冊」のテキスト+家庭学習教材
(楽しく意欲的に！自分にあったレベル・ペースで長期間続けられる)
- ④英語上達の目安として「検定」を利用
(JETやTOEIC Bridge®による「道しるべ」)
※習熟度診断やモチベーションアップにつなげる！

FREEMIND 19

<第4弾>

学習塾をアップデートする具体的な方策 ～リアル+遠隔で成績と売上を上げるには～

2020年11月24日(火)

(株)スタディラボ様 78名参加

●内容

「激変！学習塾ビジネスモデルの見直し」として、学習塾業界を取り巻く外的環境の共有をして、学習塾のニューノーマルについて紹介した。

後半は、学習塾でのIT活用という面では、ミルクラスという遠隔運営サポートシステムを紹介して、塾の講師ができることの選択と集中について話した。

- ・現在の学習塾を取り巻く環境の分析が優れており、また説明もわかりやすかった。
- ・教育ビジネスを広く分析されていて勉強になる。そして、これからやらなければならない方向が良く見えた。

(当日資料抜粋)

INDEX

学習塾市場について

- 2 2020年市場振り返り
- 3 ニューノーマル | 学習塾のニューノーマル
オンライン英会話のニューノーマル
- 6 民間教育の変化～学習者を主役に～
- 7 学習塾のマーケットについて～日本の人口の推移～
- 8 2021年一般選抜 外部検定利用一覧①②
- 10 出生数から紐解くこれからの学習塾市場

オンライン英会話シリーズ

- 14 導入実績
- 15 オンライン英会話シリーズ紹介
- 16 オンライン英会話シリーズ5つの強み
- 17 導入塾からの声
- 18 CASE STUDY 01
- 20 CASE STUDY 02

遠隔運営サポートシステム

- 23 EdTech導入実績
- 24 遠隔運営サポートシステム紹介
- 25 学習塾専用のLMS
- 26 ミルクラス3つの強み
- 32 スタディコンパス3つの強み
- 36 ミルクラス導入事例(山王学院さま)
- 37 ミルクラス導入事例(会員制難関受験専門塾elio)

サポート体制～まとめ

- 39 サポート体制
- 40 販売促進のご提案
- 41 在宅受講
- 42 弊社が提供するEdTechサービスについて
- 43 【最後に】私たちはどのように生き残るか

学習塾のニューノーマル

	これまでの学習塾		ニューノーマル(これからの学習塾)
1	EdTechは拡大	▶	EdTechは必須
2	塾か自宅	▶	自宅と塾
3	グループと個別	▶	オンラインと個別と小集団
4	教師が主役	▶	学習者が主役
5	真面目さ・外発的動機	▶	好奇心・内発的動機
6	テストによる学習管理	▶	精緻な現状把握による学習管理
7	公平	▶	公正

そして、何よりも「受験」が変わり、「塾」と「その役割」「価格」が論点となる

<第5弾>

緊急保護者アンケートから考える「英語改革」に対応する学習塾英語とは！ 集客の差別化の強力な武器となる 2021 英語指導

2020年11月26日（木）

（株）アルク様 × NEA 127名参加

●内容

アルクとNEAとで協同で行った「子どもの英語学習に対する保護者の意識」調査をもとに、どのように2021年度以降集客をしていくと良いのか、サポートできるように報告を行った。その後、英文法総合問題集ESの著者である恵比須大輔先生より、「アウトプットにつながる英文法学習指導法」の講演を行った。

- ・参考になる内容で気づきが多く、来期に向けてヒントを頂きました。
- ・保護者の方の思いをもとに、どのような授業を提供すべきかを学ぶことができた。

（当日資料抜粋）

2. 小学4～6年生の保護者にアプローチする

小学4～6年生は、英語学習において移行期にある。

↓

学習全般においても、保護者が子どもとの関わりに悩みやすい時期である可能性が高い。

↓

小学4～6年生から中学生への英語学習の移行をスムーズに行えるよう支援する、英語を含めた子どもの家庭学習の習慣をつける、保護者の子どもとのかかわりを支援することで、学習塾が、小学4～6年生の保護者の信頼を得やすくなるのではないかと。

実際的な例文・演習例①

読書中に、**ストーリーの感想を相手に伝える場面**では、どちらが適切？

(A) This is an exciting book.

(B) This book is exciting.

資料抜粋：送付できなかった資料を貼付しております

まずは、"Small" Change

① 2021年度中学生の救済 【現在の5科（3科）指導を原則踏襲】

- A: 「Bridge (架け橋)」講座 (Option)
(対面以外に) オンラインでの実施
- B: オンライン英会話 (15~30分) 活用
週2回・2時間 (80分) の授業内実施/追加
家庭での学習をカリキュラムに含める
- C: 週2回に加えて、隔週でOption講座
- D: Vocabulary upを家庭学習⇒システム、仕組み
- E: 英語のみ習熟度別学習システム導入
- F: 集団個別最適化を実施
 - a 導入授業を映像視聴
 - b ディクテーションやシャドウイングなど
 - c ネイティブと会話や講師による口頭テスト
 - d 文法・単語・文例の定着問題に取り組む

★変化しているから、塾も変化していることを訴求

2

まずは、"Small" Change

② 2021年度からの小学生英語の対応 ・学校の英語授業をどう補完するか！ 教科化により、小学英语は中学英語の基盤に

保護者にどこにゴールを置いてもらうかで変わる

今の高校入試、大学入試、英語が語学であることから
大雑把に判断すると、「基礎体力」づくりが必要か

思考力 (資料分析、情報整理)
判断力 (情報比較、関連付け、仮説・推論読み)
表現力 (構成・伝達)

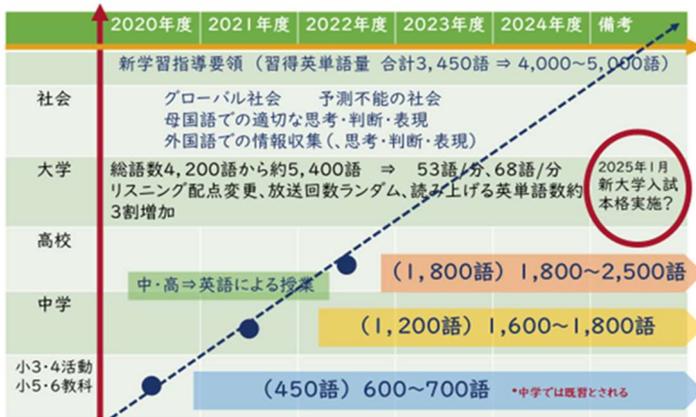
【小学生】

楽しく単語を身につけていく
楽しく話す・聞く+読む・書くで定着させていくしくみ
⇒習熟度学習システムに？ 【高校入試は通過点】

3

資料例1

時代の変化、改訂に、どう対応するか？



4

2025年、2030年をにらんだ運営 学習塾ができること、すべきこと

学習指導要領は、
・10年ごとに改訂
・小学生からの醸成により、「社会」で活躍する人材を育成

【変わるもの】
教科書が変わる… 学校間格差、教師間格差
入試が変わる… 学ぶ「場所」格差、学び方格差

- ① 2021年度中学生の救済
・新カリキュラム英語の「恩恵」不十分
- ② 2021年度からの小学生英語の対応
・学校の英語授業をどう補完するか！
教科化により、小学英语は中学英語の基盤に

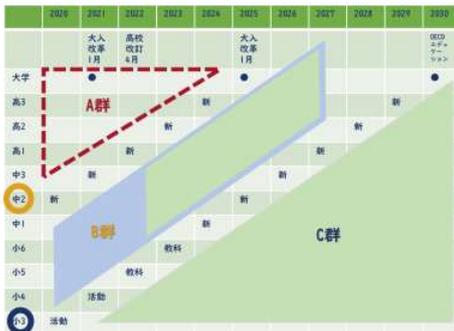
5

A群・B群 (カリキュラム移行期)

“2020自己責任”世代：移行による習熟の差は、自己責任
⇒ オプション講座・コースなどで対応
【+α教材、映像、新システム導入など】

C群

“Z世代のその先”世代：現在の判断が通用しない可能性が高い世代
⇒ (人口減少も重なり、) オンラインとの共存、「対面」の工夫が必要



6

時間管理のマトリックスから見る学習塾経営

重要度高い 緊急度高い

- ・コロナ+インフルエンザ対応
- ・2021年入試対応

など

重要度高い 緊急度低い

- ・教育改革対応
- ・経営体制、指導形態改革
- ・労働生産性向上
- ・新中1、3英語

など

重要度低い 緊急度高い

- ・重要ではない電話やメール
- ・重要ではない打ち合わせ
- ・突然の来客
- ・重要ではない差し迫った問題
- ・効果の期待できない接待

など

重要度低い 緊急度低い

- ・何もしない移動時間
- ・何もしない待ち時間
- ・将来的にプラスにならない浪費

など